

賀貞宗之御腰物并御馬致拜領候、且又櫻田之御屋敷を被下、直に御暇を給る、同廿日に江戸を發し候、兼て被仰渡候により、中山王は東海道を罷上り、家久は木曾路を通り下國仕候、其年上意にて中山王に歸國いたさせ申候、

〔琉球入貢紀略〕慶長以後入貢

寛永十一年閏七月九日、中山王尙豐、賀慶使佐敷王子、恩謝使金武王子等をして方物を貢す、元寛日記

この年將軍家御上洛ありて、京都にましますをもて、二條の御城へ登城す、このゆゑに二使江戸

に來らず、正保元年六月廿五日、中山王尙賢、賀慶使金武按司、恩謝使國頭按司等をして方物を

貢す、七月三日、下野國日光山の御宮を拜す、輪池掌録 慶安二年九月、中山王尙質、恩謝使具志川按司

等をして方物を貢す、琉球事略 また日光山の御宮を拜す、承應二年九月二十日、中山王尙質、賀慶使

國頭按司等をして方物を貢す、羅山文集和漢合運、近世武家編年略 また日光山の御宮を拜す、寛文十一年七月

廿八日、中山王尙貞、恩謝使金武王子等をして方物を貢す、萬天日記 また日光山の御宮を拜す、琉球事略、歴代

備考、天和二年四月十一日、中山王尙貞、賀慶使名護按司、恩納親方等をして方物を貢す、萬天日記、甘露叢

寶永七年十一月十八日、中山王尙益、賀慶使美里王子、富盛親方、恩謝使豊見城王子、與座親方等

をして方物を貢す、琉球事略、使紀事 また東叡山の御宮を拜す、中山使の日光山に到らずして、東叡山に來

ること、この時を始とす、正徳四年十二月二日、中山王尙敬、賀慶使與那城王子、恩謝使金武王子

等をして方物を貢す、文露叢 享保三年十一月十三日、中山王尙敬、賀慶使越來王子、西平親方等を

して方物を貢す、享保日記 寛延元年十二月十五日、中山王尙敬、賀慶使具志川王子、與那原親方等を

して方物を貢す、歴史要略 寶曆二年十二月十五日、中山王尙穆、恩謝使今歸仁王子等をして方物を

貢す、歴史要略 明和元年十一月、中山王尙穆、賀慶使讀谷山王子等をして方物を貢す、三國通覽、速水私記、寛

政二年十二月二日、中山王尙穆、賀慶使宜野灣王子等をして方物を貢す、琉球談 寛政八年十二月